

2012年3月期第3四半期 決算公表参考資料

三井物産株式会社

2012年2月2日

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいませようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

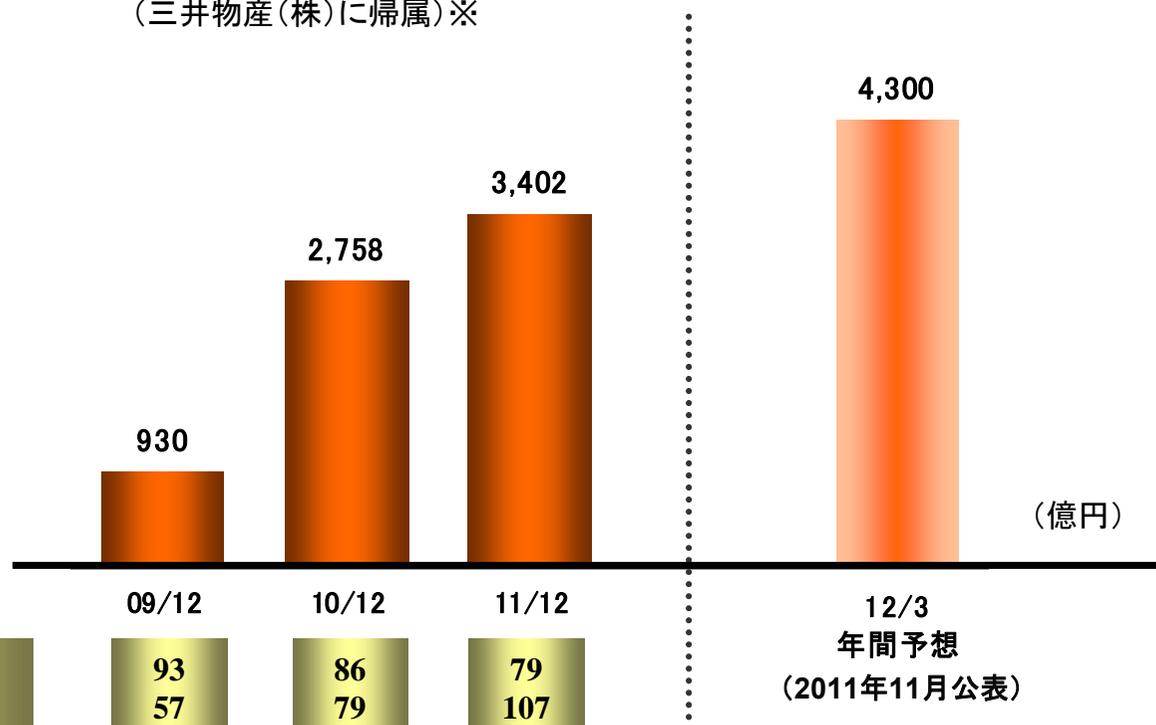
2012年3月期第3四半期決算 業績概要

欧州の財政問題、新興国における金融引き締め効果の浸透、日本やタイでの自然災害によるサプライチェーンへの悪影響等を背景に、世界経済は先進国を中心に景気の回復テンポが大幅に鈍化。

✓ 当第3四半期累計期間の連結純利益は、鉄鉱石及び原油・ガスの増産効果の他、資源・エネルギー価格の上昇を主因として前年同期比+23%増の3,402億円。

✓ コンシューマーサービス・情報産業及び米州以外は前年同期比増益。

■ 第3四半期累計期間の連結純利益
(三井物産(株)に帰属)※



※本資料では次頁以降「第3四半期累計期間の連結純利益 (三井物産(株)に帰属)」を「四半期純利益」と表記しております。

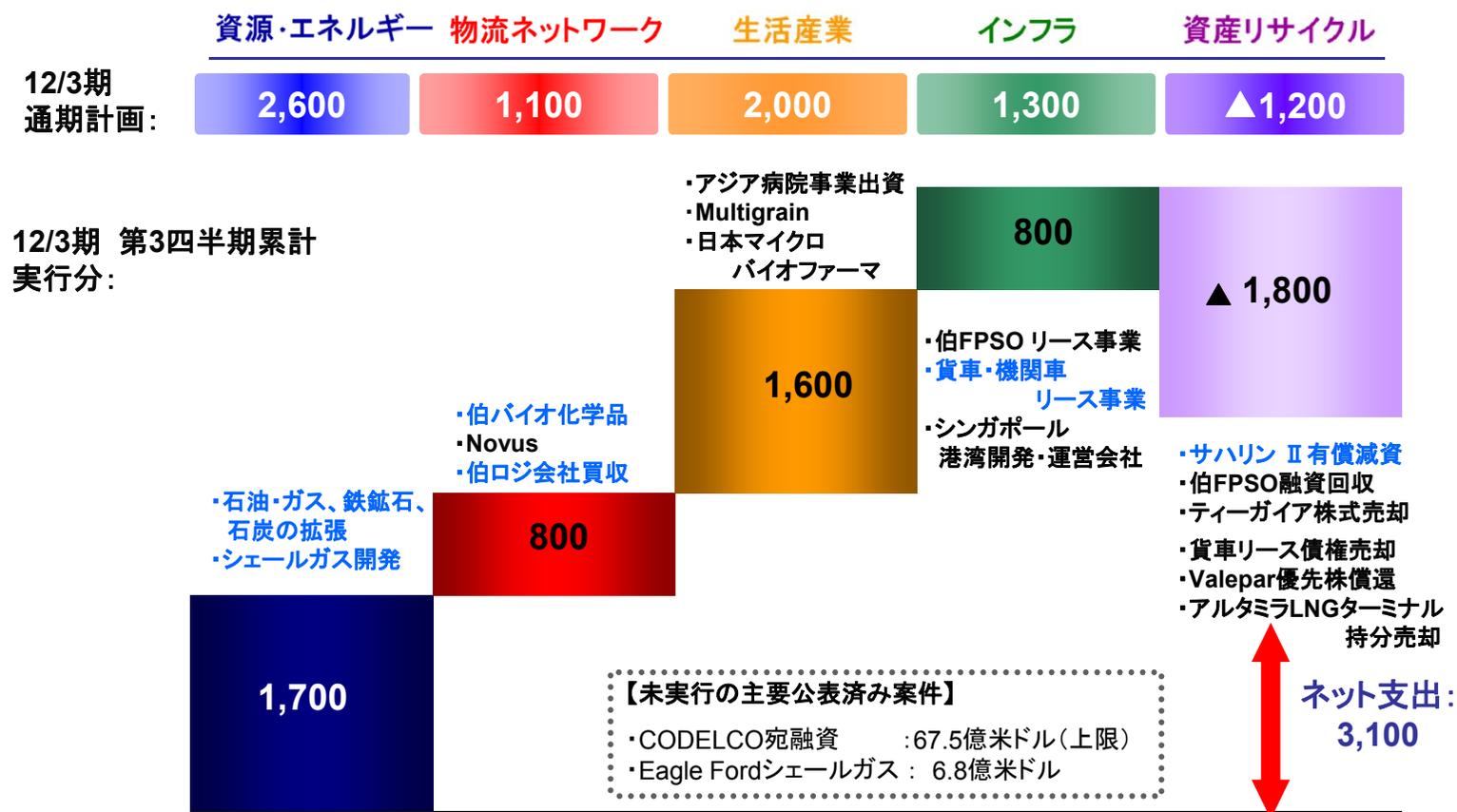
投融資計画の進捗

2012年3月期 通期 投融資計画 : 7,000億円 (ネット5,800億円)

2012年3月期第3四半期累計 実行分 : 4,900億円 (ネット3,100億円)

分野別の進捗内訳

(億円)

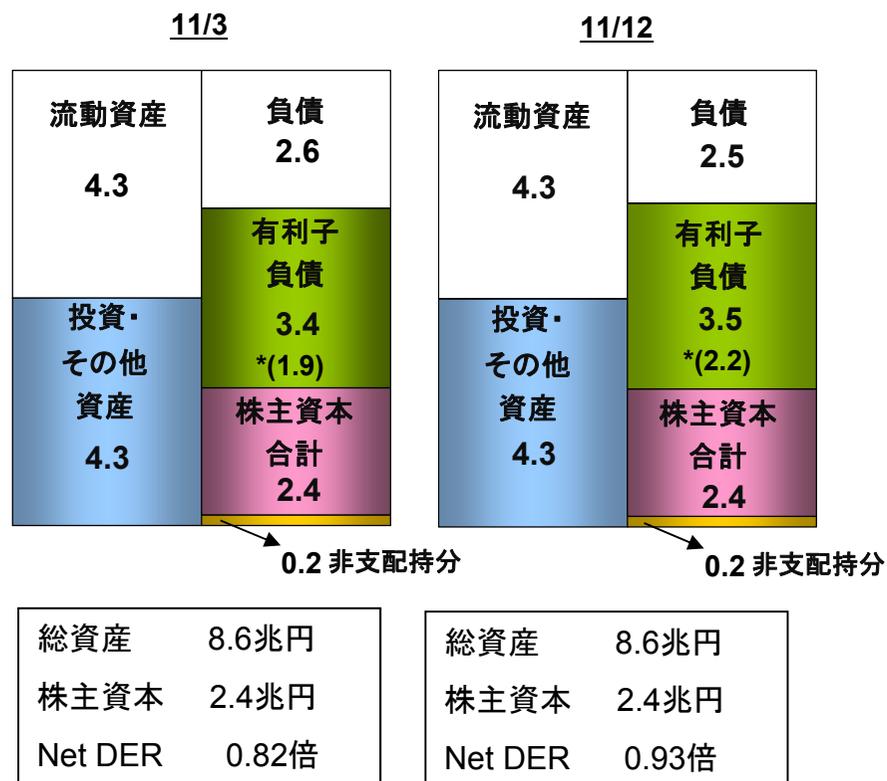


・青字の案件は当第3四半期で新たに進捗したもの。

バランスシート、キャッシュ・フロー

バランスシート

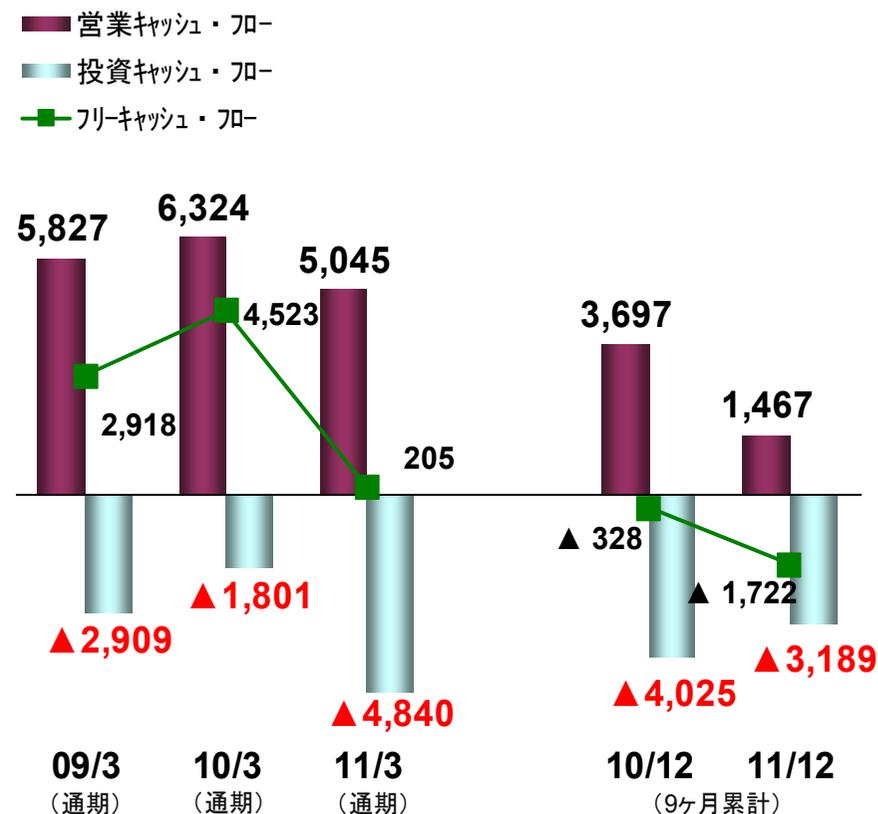
(兆円)



(*)有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

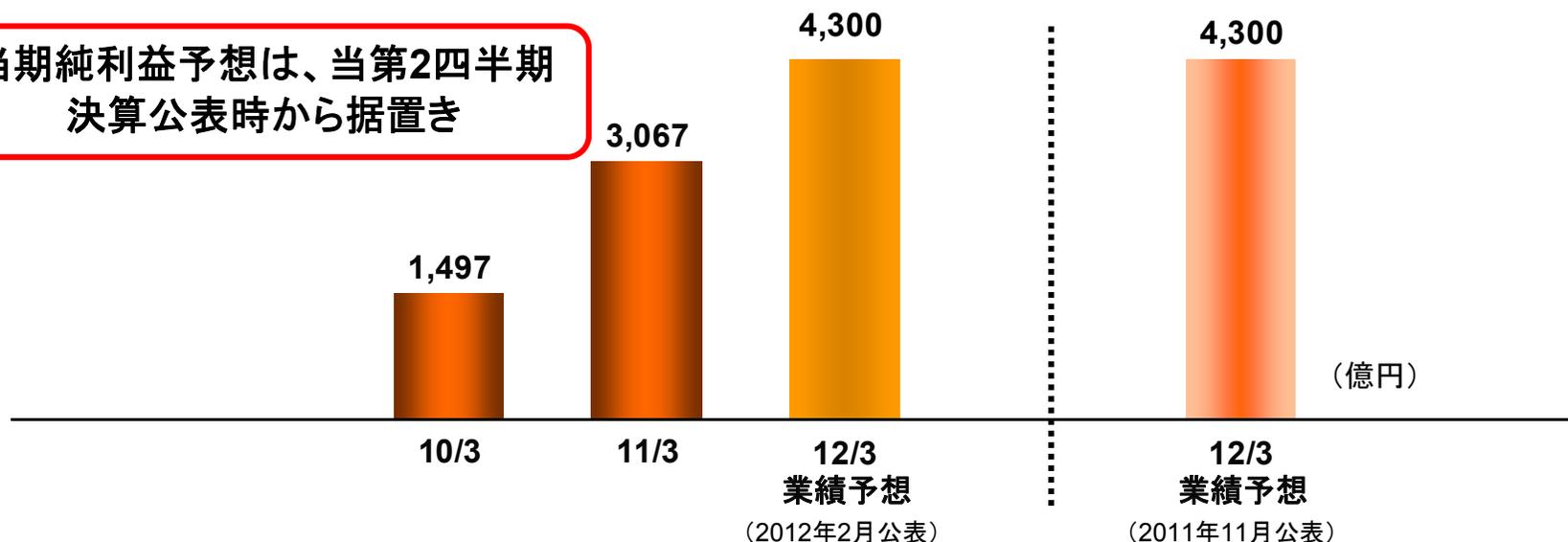
キャッシュ・フロー

(億円)



2012年3月期当期純利益予想

当期純利益予想は、当第2四半期
決算公表時から据置き



12/3通期業績予想 (上・下平均値) (2011年11月公表)	価格変動の12/3期 当期純利益への影響額 (2011年5月公表)			12/3通期業績予想 (3Q累計・4Q平均値) (2012年2月公表)	12/3 3Q累計 (実績)	12/3 4Q (前提)
	市況商品					
104	市況商品	原油/JCC ^{(*)1}	15 億円 (US\$1/バレル)	108	107	110
(*)2		鉄鉱石	19 億円 (US\$1/トン)	(*)2	175 ^{(*)3}	(*)2
9.8		ニッケル	18 億円 (US\$1/ポンド)	10.3	11.1 ^{(*)4}	8.0
80	為替	米ドル	18 億円 (¥1/米ドル)	78	79	75
82		豪ドル	28 億円 (¥1/豪ドル)	81	83	75
47		伯リアル	14 億円 (¥1/伯リアル)	47	47	45

(*)1 当社業績に反映される加重平均油価。油価は0~6ヶ月遅れで当社業績に反映されます。平成24年3月期には15%が6ヶ月遅れ、59%が3ヶ月遅れで、26%が遅れ無しで反映される見込み。

(*)2 鉄鉱石の前提価格は非開示。

(*)3 鉄鉱石の平成24年3月期3Q累計実績欄は平成22年12月~平成23年8月の複数業界紙によるスポット価格指標 62%Fe CFR Chinaの平均値を参考値として記載。

(*)4 ニッケルの平成24年3月期3Q累計実績欄はLMEの平成23年1月~9月の平均。価格はポンド換算。

(*)5 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期純利益に対する感応度。金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動を含まない。

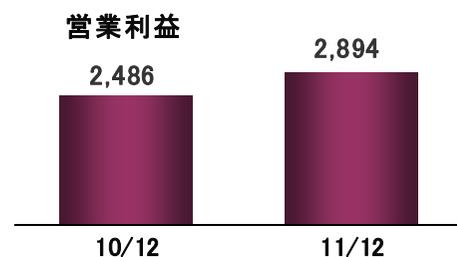
補足説明

主要PL項目(9ヶ月間累計)の前年同期比増減



売上総利益 6,771億円 前年同期比 +237億円 (+4%)

- ↑為替による減益の一方、鉄鉱石価格上昇により、MII+128億円、MIOD+85億円の夫々増益
- ↑石炭価格上昇によりMCH+116億円増益、石油トレーディング事業好調、原油価格上昇により三井石油開発 +76億円増益
- ↑コーヒー先渡契約に係る時価評価増益+91億円改善、Multigrainの連結子会社化により+78億円増益
- ↓ENEOSグローブの関連会社化により▲184億円減益、三井石油のマージン悪化により▲67億円減益
- ↓商品デリバティブトレーディングに対応する雑損失<為替増益>との泣別れ



営業利益 2,894億円 前年同期比 +408億円 (+16%)

- ↑売上総利益増加
- ↑販売費・一般管理費が+195億円負担減



持分法損益 1,763億円 前年同期比 +48億円 (+3%)

- ↑Valeparは為替による減益の一方、鉄鉱石価格上昇を主因に+209億円の増益
- ↑Robe River Mining Co.は為替による減益・販売価格調整金の反動減の一方、鉄鉱石価格上昇で+45億円増益
- ↑海外発電事業は電力デリバティブ契約などに係る時価評価増益改善を主因に+45億円増益
- ↓株価下落による評価損▲323億円：TPV ▲183億円、もしもしホットライン▲67億円、日本ユニシス▲60億円ほか

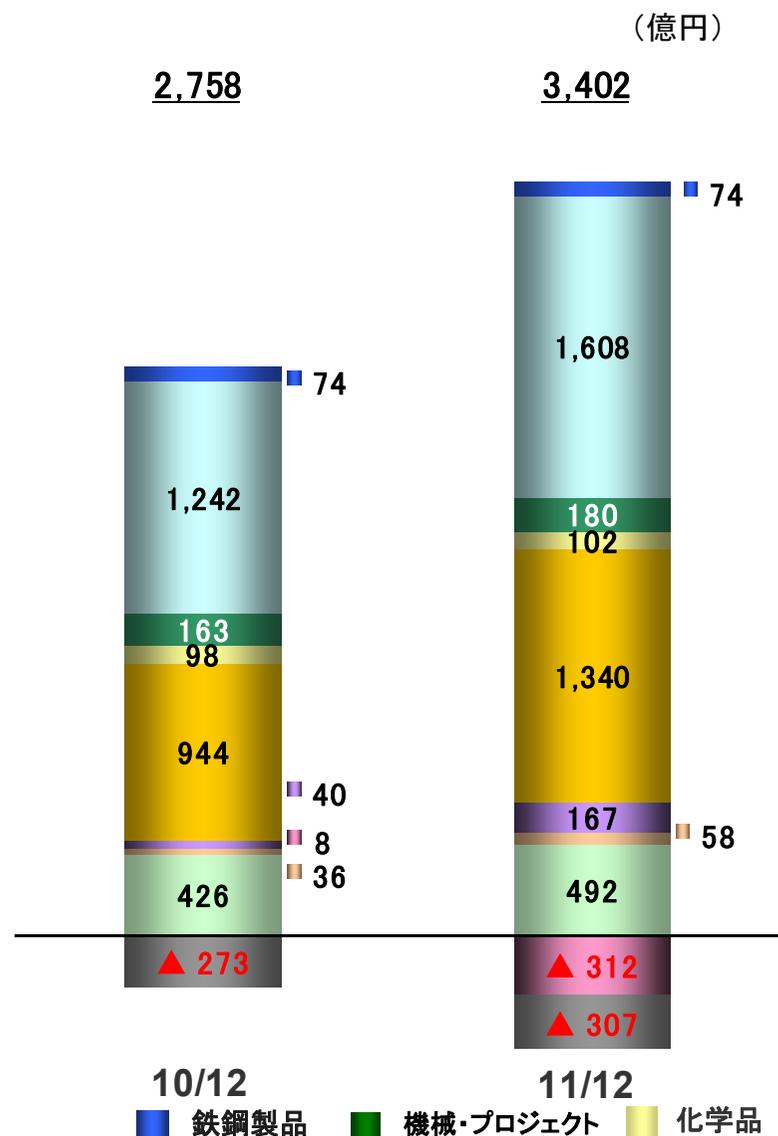


四半期純利益 3,402億円 前年同期比 +644億円 (+23%)

- ↑受取配当金(税前)+118億円増(LNGプロジェクト+133億円増)
- ↑有価証券売却増益(税前)+95億円増
当期:Multigrain持分の公正価値評価益+36億円、ティーガイア株式の売却益+27億円ほか
- ↑Shark Bay塩田内鉱区の一部返還に対する補償金(税前)+58億円
- ↓有価証券評価損(税前)▲102億円悪化
当期:Formosa ▲40億円ほか

セグメント別純利益(9ヶ月間累計)の前年同期比増減

(数値は税後ベース)



■ エネルギー 1,340億円 前年同期比 +396億円 (+42%)

- ↑LNGプロジェクトの受取配当金増加により +134億円増益
- ↑MCHIは、為替による減益の一方、石炭価格上昇により+63億円**増益
- ↑取扱数量増加、市況改善により石油トレーディング事業が増益
- ↑三井石油開発は、為替による減益の一方、原油価格上昇により増益
- ↑法人税率の引き下げに伴う繰延税金負債の取崩を主因に+53億円増益

■ 金属資源 1,608億円 前年同期比 +366億円 (+29%)

- ↑Valeparは、為替による減益の一方、鉄鉱石価格上昇を主因に+123億円*増益
- ↑MIODIは、為替による減益の一方、鉄鉱石価格上昇により+78億円**増益
- ↑MIIIは、上記要因に加え数量増により+57億円**増益
- ↑法人税率の引き下げに伴う繰延税金負債の取崩を主因に+102億円増益

■ 食料・リテール 167億円 前年同期比 +127億円 (+318%)

- ↑コーヒーの先渡契約に係る時価評価損益の改善により+54億円
- ↑Multigrainの連結子会社化、及び大豆の収穫量増加を主因に+26億円増益
- ↑Multigrain既存持分の公正価値評価益+18億円

■ CS・情報産業 ▲312億円 前年同期比▲320億円

- ↓有価証券評価損 ▲339億円:
 - TPV▲189億円、もしもしホットライン▲67億円、日本ユニシス▲60億円、Formosa▲24億円
- ↑ティーガイア株式の売却益+39億円
- ↑国内不動産評価損の反動増

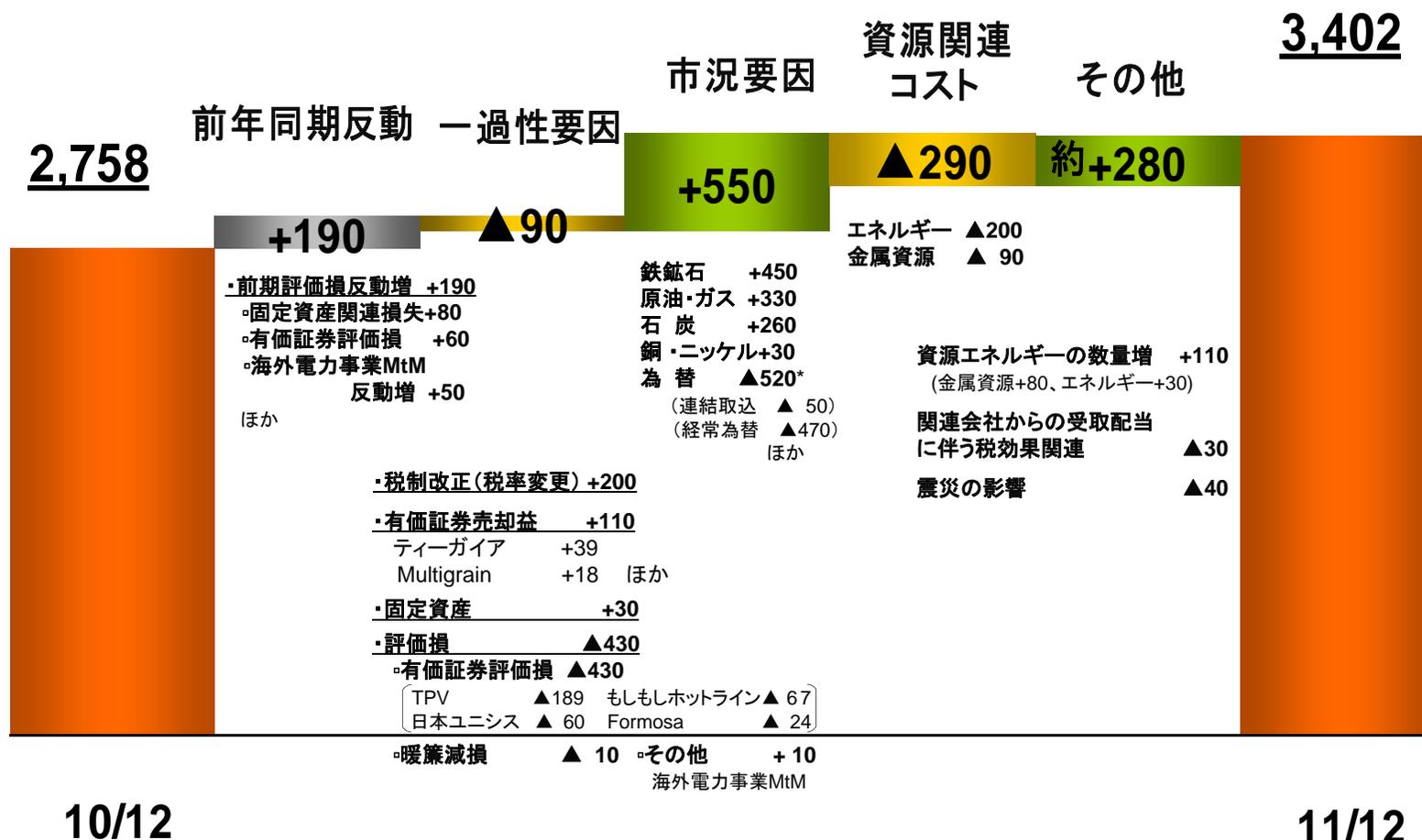
*親会社における未分配利益に関わる税効果控除後

**当セグメント持分

前年同期比(9ヶ月間累計)の増減要素

(億円)

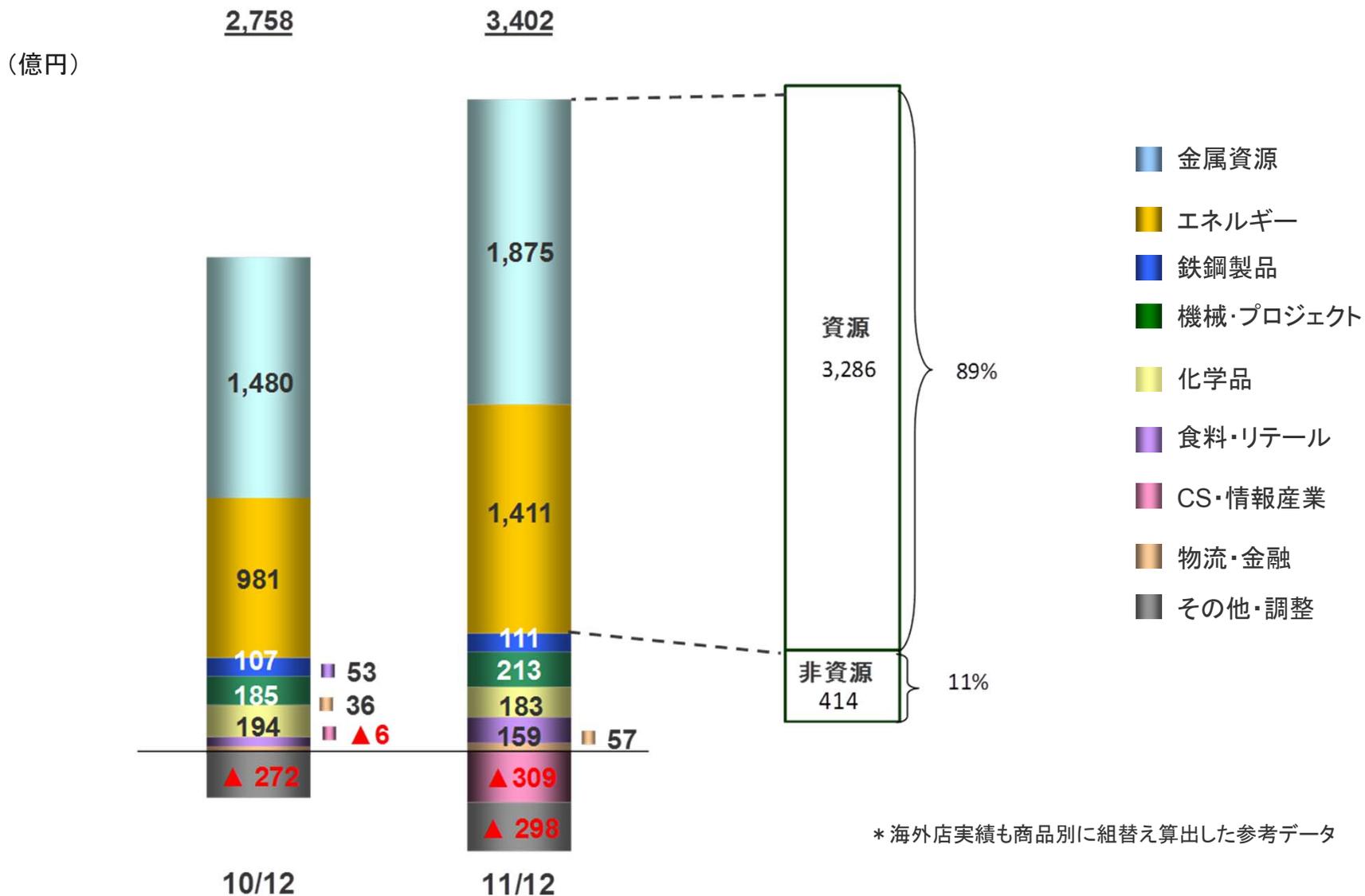
(数値は税後ベース)



*為替明細
 ・エネルギー: ▲280(連結取込▲80 経常為替▲200)
 ・金属資源: ▲250(連結取込 +20 経常為替▲270)
 ・その他: +10(連結取込 +10)

Appendix

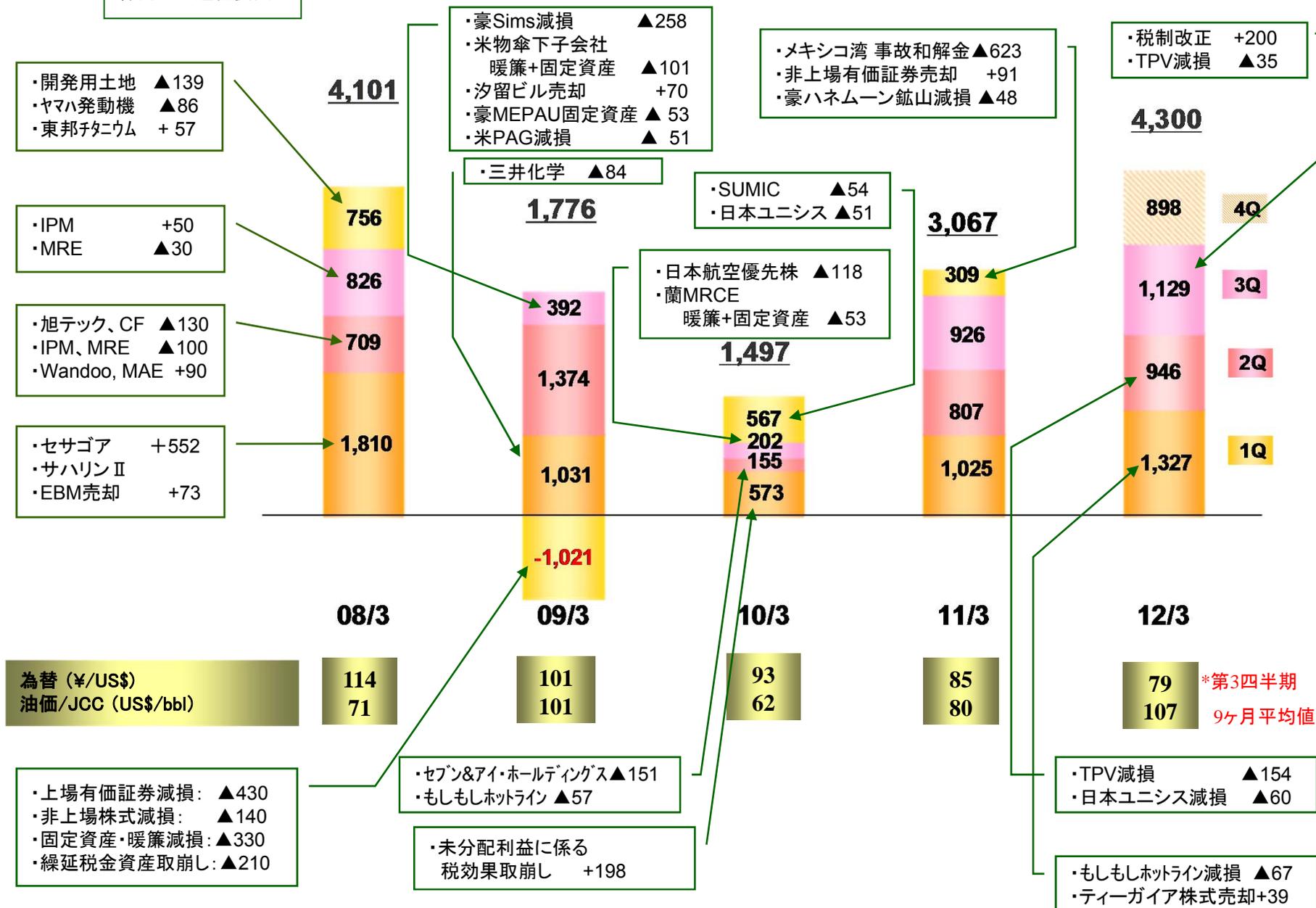
全世界ベース商品別当期純利益(参考値*)



(億円)

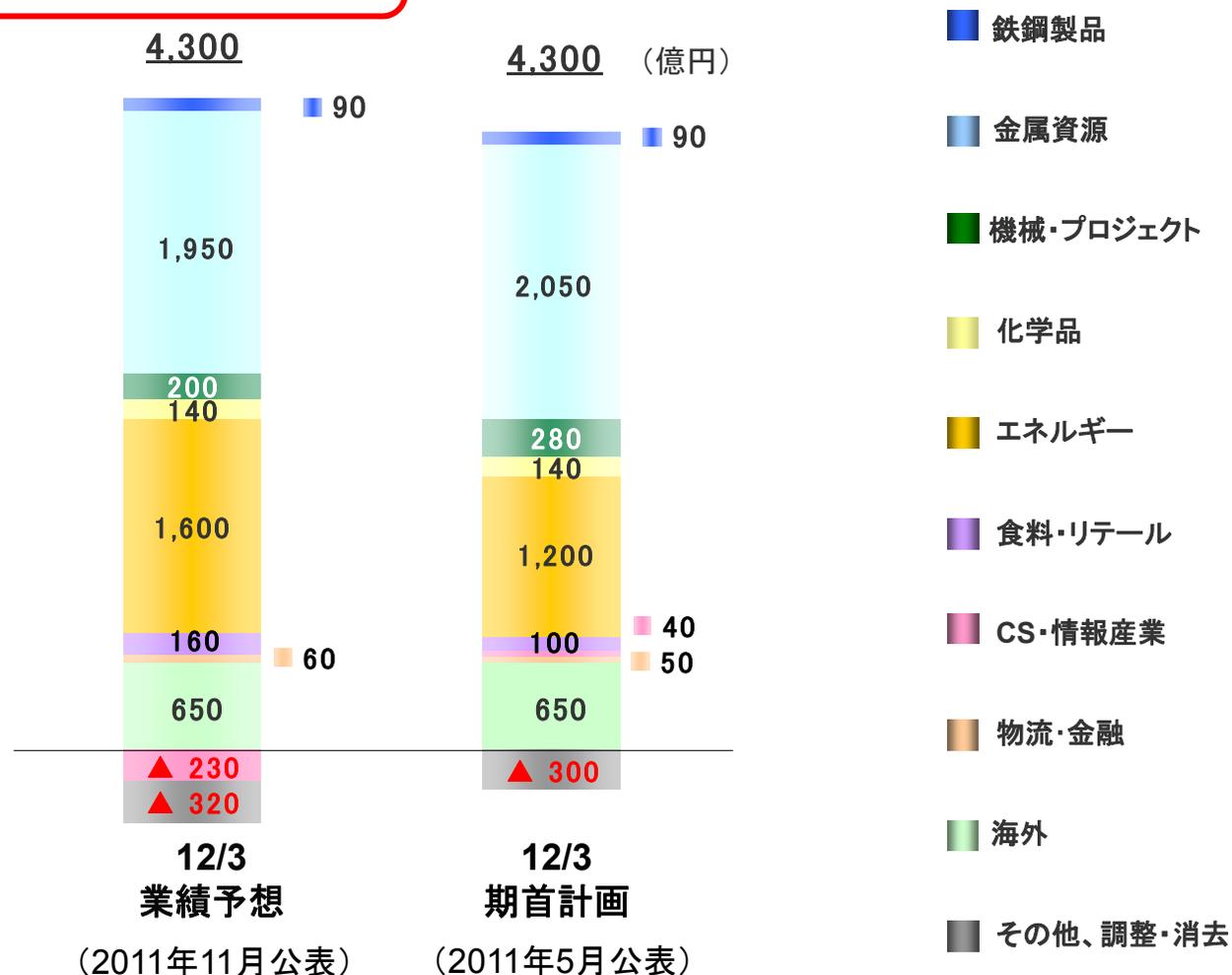
枠内は一過性要因

四半期毎の損益に含まれる一過性損益



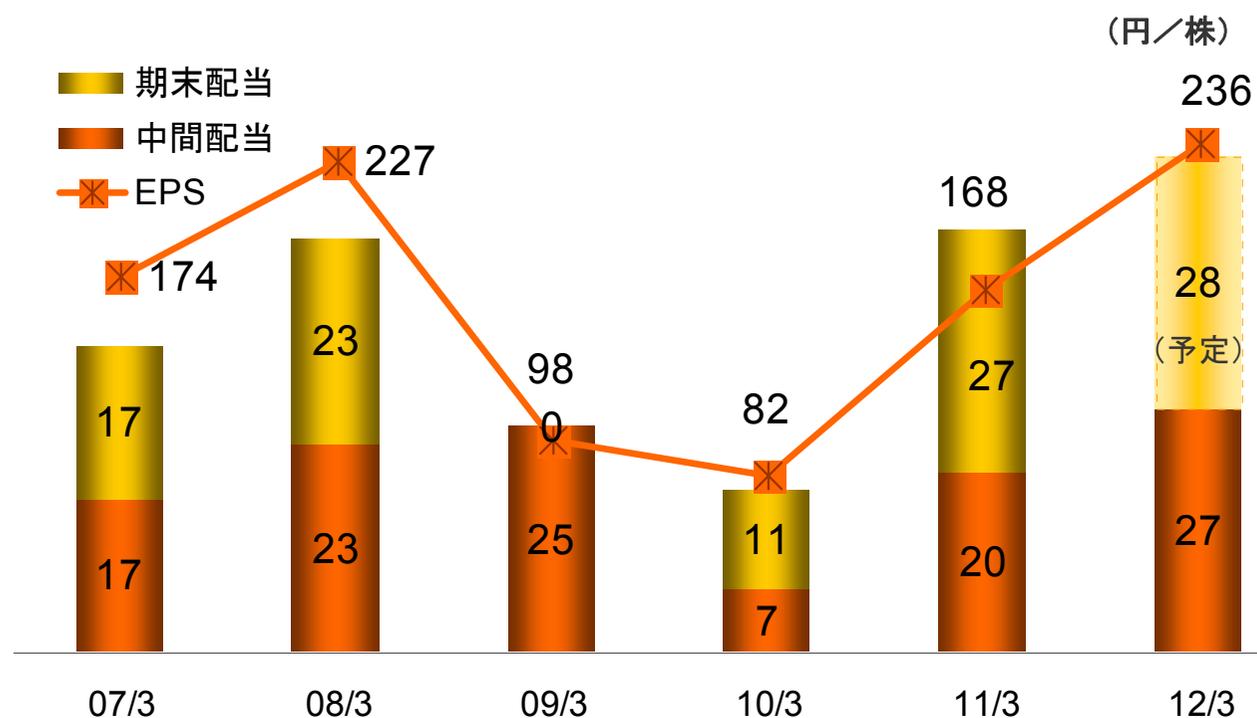
オペレーティングセグメント別当期純利益予想

セグメント別当期純利益予想は、
当第2四半期決算公表時から据置き



2012年3月期 株主還元策

- ・連結配当性向 23%
- ・当期純利益予想 4,300億円を前提に、年間配当55円/株を予定。
内、中間配当は27円



中国向け鉄鉱石スポット価格推移* (参考値)



*業界紙複数社によるスポット指標平均

当社持分権益出荷量実績

	11/3 1Q	11/3 2Q	11/3 3Q	11/3 4Q	11/3	12/3 1Q	12/3 2Q	12/3 3Q*	12/3 3Q累計
鉄鉱石(百万トン/年)	10.5	10.7	11.9	10.9	44.0	10.7	11.7	12.2	34.6
MIOD	6.5	6.4	7.0	5.9	25.8	6.2	7.0	7.3	20.5
MII	0.7	0.8	1.0	1.0	3.5	1.1	1.1	1.0	3.2
Vale**	3.3	3.5	3.9	4.0	14.7	3.4	3.6	3.9	10.9
石炭(百万トン/年)	2.0	2.5	2.3	1.7	8.5	1.7	2.4	2.7	6.8
MCH	1.8	2.1	2.0	1.4	7.3	1.5	2.1	2.4	6.0
BMC**	0.2	0.4	0.3	0.3	1.2	0.2	0.3	0.3	0.8
原料炭	1.4	1.9	1.7	1.3	6.3	1.1	1.8	2.3	5.2
一般炭	0.6	0.6	0.6	0.4	2.2	0.6	0.6	0.4	1.6
銅(千トン/年)***	14.3	13.5	15.1	14.8	57.7	12.5	14.6	16.5	43.6

*石炭は速報数値 ** Vale及びBMCは1Q:1-3月、2Q:4-6月、3Q:7-9月、4Q:10-12月の実績 ***Vale出荷分の5%含む

当社持分権益生産量

当社持分権益生産量	10/3期 実績	11/3期 実績	12/3期 (予想)	13/3期 (予想)	14/3期 (予想)
原油・ガス 合計	188	212	216	252	265
原油 (千bbl/日)	85	81	72	79	77
ガス (千bbl/日換算)	103	131	144	173	188
鉄鉱石 (百万トン/年)*	41.0	43.7	47	49	54
石炭 (百万トン/年)	8.9	8.5	9	11	12
銅 (千トン/年)*	59.3	58.0	63	67	92

(2011年5月公表)

*Vale生産分の5%を含む

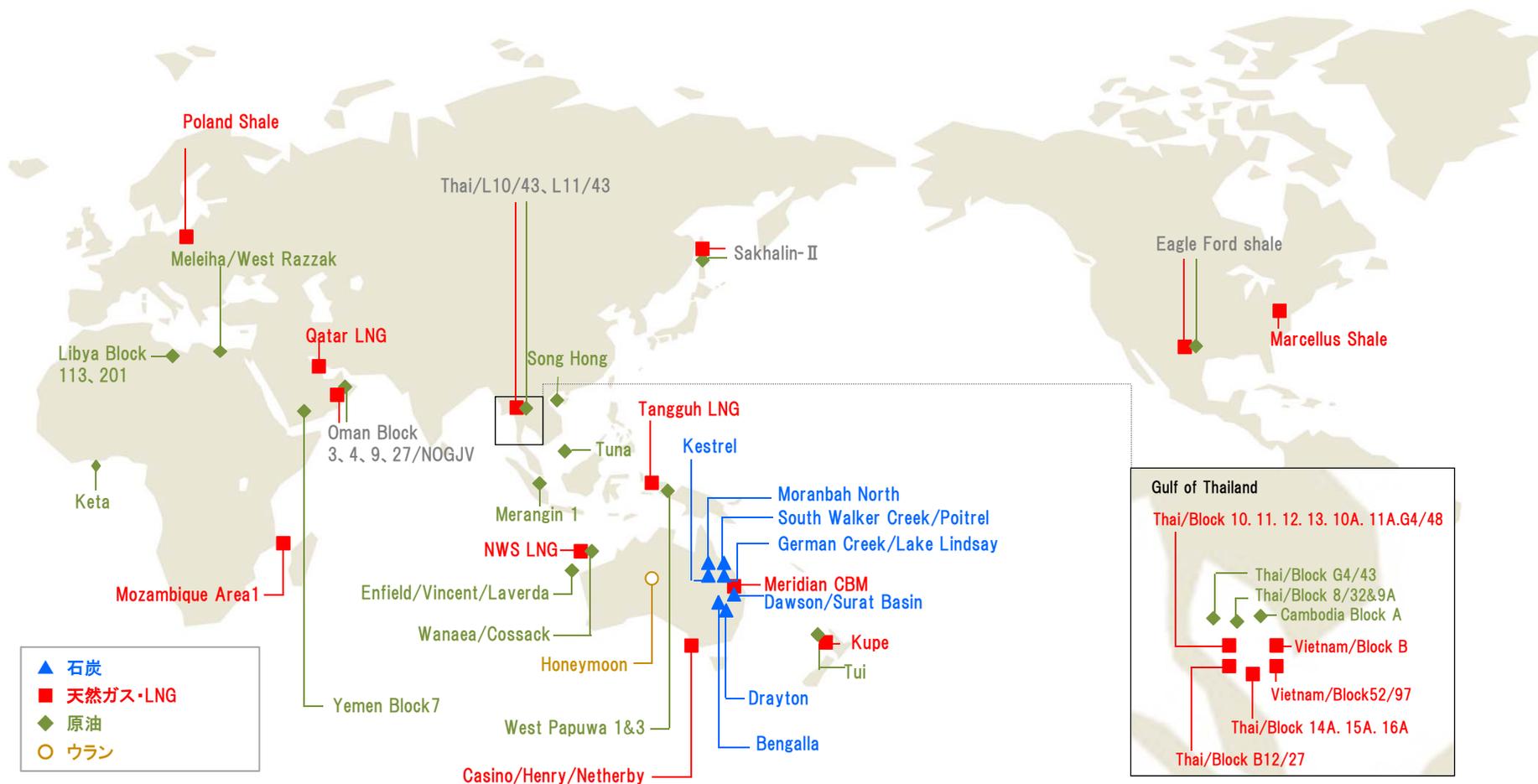
2011年12月末現在

金属資源の主なプロジェクト



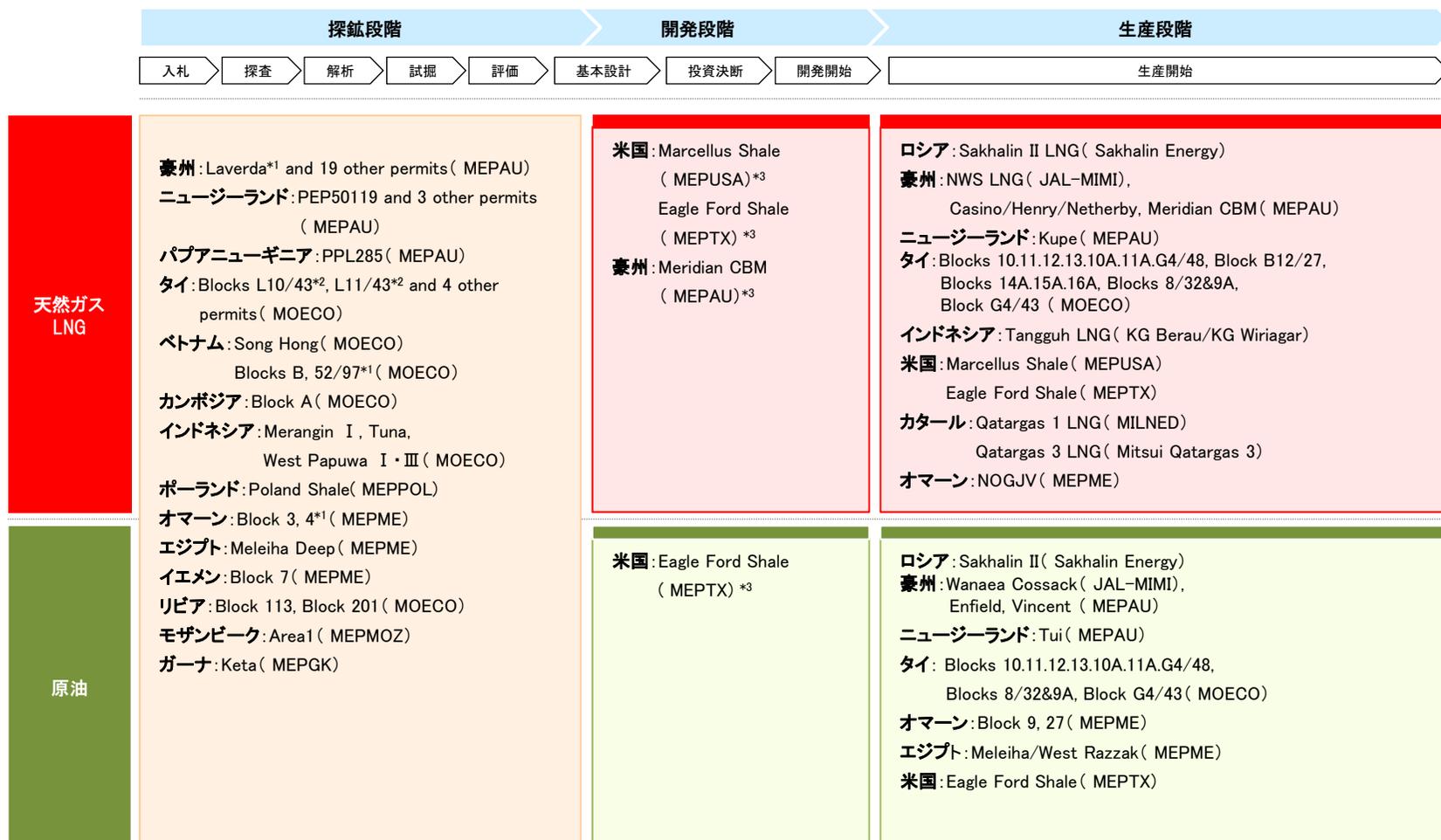
2011年12月末現在

エネルギーの主な上流権益



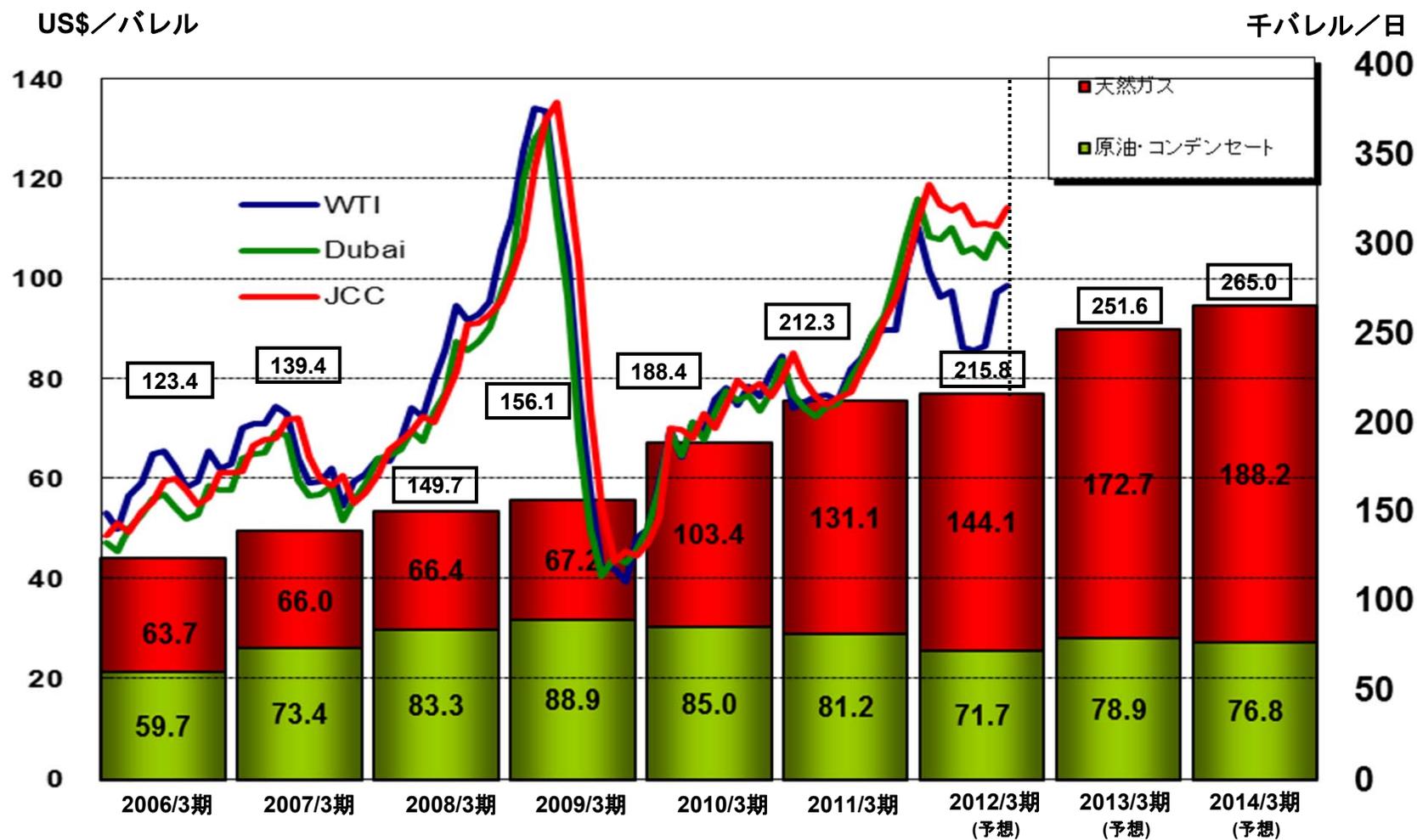
2011年12月末現在

原油・ガスの主な上流権益



*1 既発見未開発鉱区 *2 一部開発段階移行済 *3 一部生産段階移行済

原油・ガス生産量推移



(生産量推移は2011年5月公表値)

2011年12月末現在

鉄鋼製品の主な事業投資



2011年12月末現在

発電事業ポートフォリオ

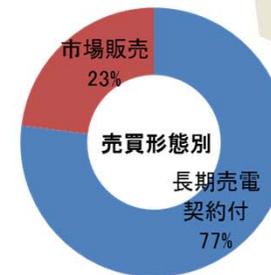
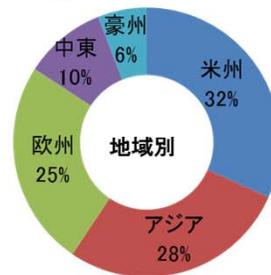
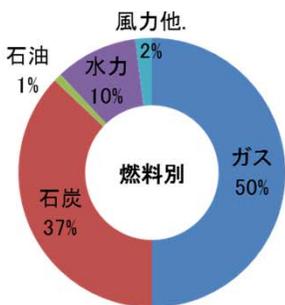
当社持分発電容量(ネット): 5.7GW
(グロス容量: 25GW)



* 三井保有持分49.7%
(直接保有36.3%+IPM Eagle経由保有13.4%)

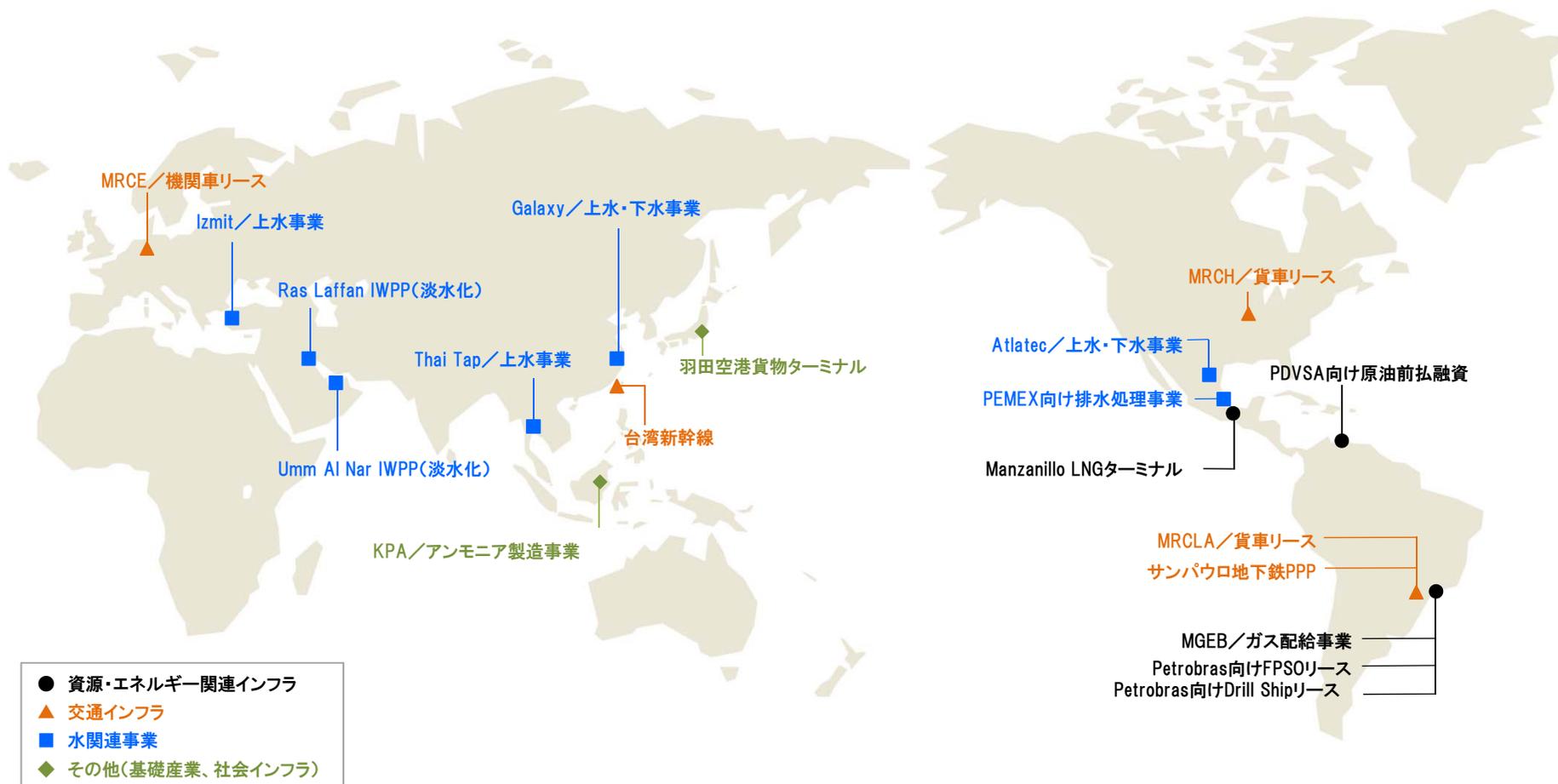
- ▲ IPM (UK) Power社保有資産
■ IPM Eagle社保有資産
◆ MT Falcon保有資産
● その他
○ 建設中発電所

ポートフォリオ分類



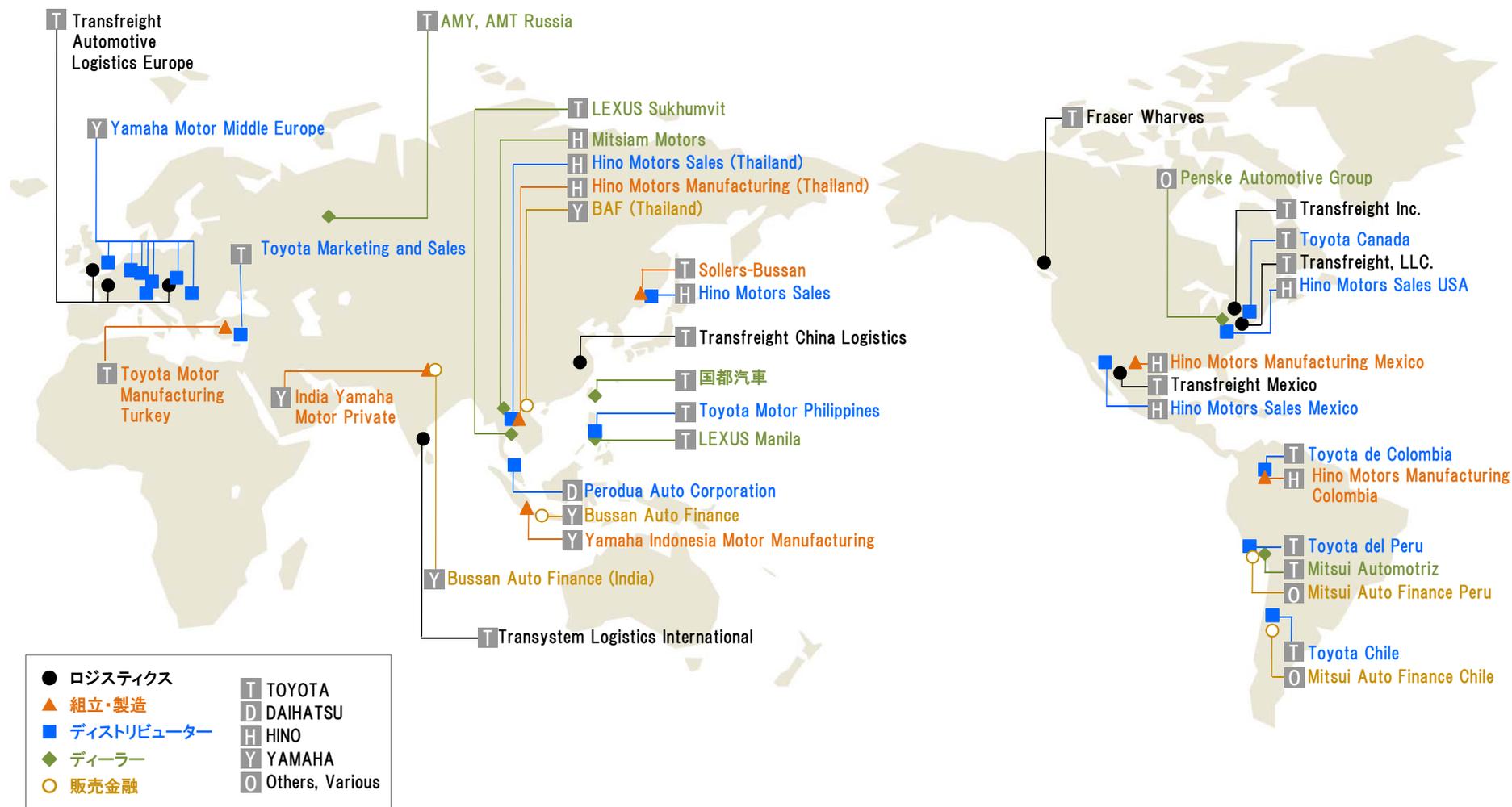
2011年12月末現在

発電以外の主なインフラ・プロジェクト



2011年12月末現在

自動車事業ポートフォリオ



2011年12月末現在

食料・リテールの主な海外事業投資



2011年12月末現在

化学品の主な製造事業型投資

